

令和元年度 森林環境譲与税に関する決算状況一覧

NO.	事業区分	事業名	事業総額(千円)		事業内容	実績	(注)転入の効果
			(A)うち令和元年度の森林環境譲与税(千円)	(B)うち他の財源(千円)			
1	意向調査の準備作業	森林計画クラウドシステムLGWAN回線接続料	13	12	1 森林計画クラウドシステムLGWAN回線に接続することにより、職員が意向調査に必要なリストの作成作業の進捗に貢献できる		
2	人材育成等	町有林管理業務委託	590	336	254 地域林政アドバイザーの活用 森林経営計画等の変更に対する指導・助言をもらい、職員のスキルアップにつなげる	伐採木の選木、経営計画の変更等の指導	
3	木材・普及啓発関係	佐呂間町植樹祭	874	872	2 佐呂間町植樹祭の実施 【木材利用普及啓発】 森林の役割や必要性を啓発するチラシ及び木製製品を配布し、木材の利用普及を伝える	参加人数：99人	
4	木材・普及啓発関係	若佐小学校植林	339	296	43 若佐小学校植林の実施（木育推進） 児童及び佐呂間高校1年生ら合計78名による植樹事業をすることにより木育の推進を目的とする	参加人数：178人 木製品の児童生徒への配布：62人	
5	基金積立 (森林整備等)	森林環境譲与税基金積立金	4,546	3,030	1,516 関係等の森林整備事業実施のため、また、人材育成や木材利用等にも活用するために積み立てる		【ワンフレーズ】 ・植樹祭を通して町民に対し木製玩具や森林の役割や必要性を啓発するチラシの配布を通し、参加者約99人に木材の良さを実感してもらうとともに、森林・林業に対する理解啓発につながった。 ・学校用地に野球場のバット材に使用されるアオダモ等を植樹し、木製品を配布することで、森林及び木材の有用性を発信し木育を推進できた。

【詳細】
当役場には林務専門の職員がいないため、意向調査の実施や森林整備に関する取組の検討に時間がかかり、意向調査実行リストの作成に時間を要しているため、一部活用後の残額3,030千円を積み立てた。また、R1に森林環境譲与税を活用して、百年林の整備を推進するために実施する補助事業が効果的に実施されるとともに、管内の森林所有者等が将来にわたって安定した森林整備に取り掛かるよう「森林整備の水準に関する目標」（期間：R2～R10）を作成し、目標達成に向けて、令和2年度から森林整備に係る市町村単独事業を創設し活用するための積立。